

# 鐵道國有法案外一件特別委員會會議事速記録第一號

付託議案

鐵道國有法案

京釜鐵道買收法案

委員氏名

委員長 侯爵黑田 長成君

副委員長 伯爵正親町實正君

委員

|          |          |          |
|----------|----------|----------|
| 伯爵德川 達孝君 | 子爵谷 干城君  | 子爵井上 勝君  |
| 子爵曾我 祐準君 | 子爵岡部 長職君 | 子爵堀田 正養君 |
| 子爵三島彌太郎君 | 子爵牧野 忠篤君 | 男爵松平 正直君 |
| 男爵小澤 武雄君 | 平山 成信君   | 男爵有地品之允君 |
| 男爵伊達 宗敦君 | 小松原英太郎君  | 男爵野田 裕通君 |
| 山川健次郎君   | 男爵佐野 延勝君 | 男爵紀 俊秀君  |
| 南郷 茂光君   | 古市 公威君   | 藤田 四郎君   |
| 武井 守正君   | 磯邊 包義君   | 桑田 熊藏君   |
| 下郷 傳平君   |          |          |

明治三十九年三月十九日(火曜日)午前十時二十九分開會

○委員長(侯爵黑田長成君) 是ヨリ開會イタシマス

○國務大臣(侯爵西園寺公望君) 是ハ鐵道國有ノ問題ノ會デゴザイマスガ、チヨット私ハ此機會ヲ利用イタシマシテ、タシカ本月初メノ豫算委員會ノトキデアッタト考ヘマス

ガ、私ハ當日閣席イタシテ居リマシタガ、谷子爵ヨリ御演說ガゴザイマス、ソレニ付キマシテ一言今日ノ機會ヲ利用シテ御答ヲ致シタイト思ヒマス、宜シウゴザイマス

○子爵曾我祐準君 豫算委員會ハ未ダ本員ノ信ズル所デハ追加案ガ出テ居リマスカラ、豫算委員會ハ開カレト思ヒマス、豫算案ノコトニ付テハ此會ハ緣故ガ遠イト思ヒマス

○子爵曾我祐準君 豫算委員會ハ開カレト思ヒマス、豫算案ノコトニ付テハ此會ハ緣故ガ遠イト思ヒマス

○子爵曾我祐準君 豫算委員會ハ開カレト思ヒマス、豫算案ノコトニ付テハ此會ハ緣故ガ遠イト思ヒマス

○子爵曾我祐準君 豫算委員會ハ開カレト思ヒマス、豫算案ノコトニ付テハ此會ハ緣故ガ遠イト思ヒマス

○子爵曾我祐準君 豫算委員會ハ開カレト思ヒマス、豫算案ノコトニ付テハ此會ハ緣故ガ遠イト思ヒマス

○子爵曾我祐準君 豫算委員會ハ開カレト思ヒマス、豫算案ノコトニ付テハ此會ハ緣故ガ遠イト思ヒマス

○子爵曾我祐準君 豫算委員會ハ開カレト思ヒマス、豫算案ノコトニ付テハ此會ハ緣故ガ遠イト思ヒマス

○子爵曾我祐準君 豫算委員會ハ開カレト思ヒマス、豫算案ノコトニ付テハ此會ハ緣故ガ遠イト思ヒマス

○子爵曾我祐準君 豫算委員會ハ開カレト思ヒマス、豫算案ノコトニ付テハ此會ハ緣故ガ遠イト思ヒマス

○子爵曾我祐準君 豫算委員會ハ開カレト思ヒマス、豫算案ノコトニ付テハ此會ハ緣故ガ遠イト思ヒマス

○子爵曾我祐準君 豫算委員會ハ開カレト思ヒマス、豫算案ノコトニ付テハ此會ハ緣故ガ遠イト思ヒマス

○子爵曾我祐準君 豫算委員會ハ開カレト思ヒマス、豫算案ノコトニ付テハ此會ハ緣故ガ遠イト思ヒマス

○子爵曾我祐準君 豫算委員會ハ開カレト思ヒマス、豫算案ノコトニ付テハ此會ハ緣故ガ遠イト思ヒマス

貴族院鐵道國有法案外一件特別委員會會議事速記録第一號

明治三十九年三月二十日

申述べマシタ趣意ハ、日本ノ外交ハ頗ル危險ナ外交デア、ソレガ主ナル目的デゴザイマス、ソレカラシテ今日此出テ居リマス鐵道案モ、陸軍大臣ノ説明セラルル所モ、矢張り私ノ考ト同シ軍事上ノ必要ト云フコトデ、近キ將來ドウ云フコトガアラウヤ知レヌト云フデゴザイマスカラ、丁度宜カラウト思ヒマスカラ、ドウカ茲デ總理大臣ノ御說ヲ承ルハ、私ニ於テハ甚ダ喜ブデ……

○委員長(侯爵黑田長成君) ソレデハ谷子爵モ左様申サレマスカラ、ドウゾ御述ベラ願ヒマス

○國務大臣(侯爵西園寺公望君) 不幸ニシテ當日ハ私ハ出席シテ居リマセナダガ、谷子爵ヨリ是ノ御演說ガアッタト云フコトヲ承リマシテ、當日ノ速記ヲ繰返シテ拜見イタシタノデゴザイマス、段々御述ベニナル次第ヲ忖度イタシマス、甚ダ日本ノ外交ハ幼稚ナル、或ハ日本ノ外交ハ戰サスルコトヲ希望シテ居ルノデハナイカト云フヤウニ見エ、前途ニ向ッテ甚ダ憂フル次第、戰ヲ起スト云フコトハ實ニ萬已ムヲ得ヌトキニ涙ヲ吞ンデ起スト云フ位ニアリタイ、斯ウ云フ御演說デアルト考ヘマス、誠ニ谷子爵ノ段々國家ヲ憂ヘラレテ御述ベニナル次第ハ如何ニモ御精神ノ溢レテ居ルコトト深ク本大臣ハ感服イタシタノデゴザイマス、尙又同僚トモ能ク前途ニ就テ協議シテ國事ニ當ラムコトヲ望ムト云フ結論デアッタデアリマス、是ハ謹シテ教ヲ奉シマシテ十分ニ研究イタシ、勉強イタシ、考慮ヲ費ヤシテ國事ニ當ル考デアリマス、唯其中、初ニ申シマシタ我外交ハ戰サヲ起スノ方針デ居ハシナイカト云フコトニ付キマシテハ、一言辯ジテ置カケレバナラヌノデゴザイマス、本大臣ハ即チ谷子爵ノ仰セラレタ通り飽クマデモ平和ガ維持シタイ、將來ニ向ッテ本大臣ハ何所マデモ其精神ヲ以テ政治ノ方針ト致ス積リデゴザイマス、或ハ國家ガ侮辱サレルトカ、國家ノ危急存亡デア、戰ハサルヲ得ヌ、謂ハル正當防禦ノトキニアラズンバ何所マデモ避ケラレラゲハ外交ノ手段竝ニ施政ノ術ヲ以テ避ケルト云フ本大臣ハ考ヘ、又豫メ我が 聖天子ノ聖旨ノアル所ヲ忖度シ奉ルニ、始終平和ヲ御愛好アラセラレテ居ルト云フコトハ私カニ忖度シ奉ル次第デゴザイマシテ、我々是ガ輔助ノ任ニ當リマス者ハ無論此聖旨ニ從ッテ政治ヲ致スト云フコトハ本分ト考ヘマス

ルノデゴザイマス、此一條ニ於キマシテハ決シテ近キ將來ニ於テ戰サヲ起ス爲ニ外交ノ道ヲ施スト云フ精神ハ聊カモ無イノデアリマスカラ、之ヲ申シテ置キマス、尙又軍事兵員等ノコトニ付テモ御希望ガアタヤウニ考ヘマスガ、此コトニ付キマシテモ最早遠カラズ專任ノ文部大臣モ出來ルノデゴザイマス、尙能ク是等トモ相談ヲ致シマス、尙陸軍其他ノ其衝ニ當ル同僚トモ十分ニ協議ヲ致シテ私ノ力ノ及バム限り、慎重ナル態度ヲ取リ、考慮ニ考慮ヲ盡シテ我國ノ前途ヲ爲ニ私ハ努メル積リデゴザイマス、此段一言申上ゲマス

○男爵伊達宗敦君 此ハ鐵道國有法案ノ委員會ヲ開カレル前ニ於キマシテ總理大臣ニ希望ヲ述べテ置キタウゴザイマス、ソレハ他デモアリマセヌガ、或ハ私ノ不敏ノ爲ニ十分ニ分ラヌデアリマス、知レマセヌガ、衆議院ニ於テ御述ベニナル所、又昨日ノ本議場ニ於テ總理大臣ハ勿論、其他ノ國務大臣カラ質問ニ對シテ御答ヘニナル所モ十

分分り兼ネル所ガゴザイマス、無論ソレニ付テハ委員諸君カラ御質問モアリマセウガ、此鐵道國有ト云フコトニ付テ政府ハ最初ヨリ國有ノ主義デアアル、終始一貫シテ居ルノデアアル、斯ウ云フコトノ御説明ガアリマスケレドモ、ドウモ私トモガ何デハ十分ニ其御趣意ノアル所、御精神ノ所ヲ貫イテ伺フコトガ出來ナカッタデアリマス、唯今モ申ス如ク多分是ハ私ノ聞キ様ガ惡イ、或ハソレヲ解釋スルガ能力ヲ持テ居ナイノデアアルカモ知レマセスケレドモ、若シモ議場多數ノ諸君ノ中ニ私ト同シヤウニ考ヘテ居ラレル、委シク申セバ意味ヲ十分ニ理解シ得ナイ御方ガアツタスレバ、甚ダ此案ノ爲ニモ不利益ノコトデアリマセウト思ヒマス、度々御煩ハシ申スノ御氣ノ毒デアリマススケレドモ、勿論其御職掌デアアルニ付テハ、此案ニ付テ十分ニ御説明ヲ願ヒタイ、詰リ大體主義ノアル所ト抑鐵道國有ト云フコトガ終始一貫シテ今日マデ少シモ變タコトハ無イト云フ所カラ、昨日議場テ述ベラレタヨリモ今日ハ委員會ノコトデアリマスカラ、別ニ理窟立テ述ベルコトモ無イト思ヒマスカラ、出來ルダケ十分御説明ヲ今一應此委員會ノ始マル前ニ於テ總理大臣ニ於テ御述ベニナルコトヲ私ハ希望イタシマス、ドウカソレデケテチヨット……

○國務大臣(侯爵西園寺公望君) 唯今伊達男爵ヨリ本大臣ガ衆議院並ニ昨日ノ議場ニ於キマシテ鐵道國有ノ主義ハ始終一貫シテ居ル主義デアルト申スコトヲ述ベマシタガ、ドウモソレハ腹ニ嵌マリ兼ネルカラ尙一應其事ヲ述ベヨト、斯ウ云フコトニ承リマシタデゴザイマスガ、是ハ即チ伊達男爵モ唯今御述ベノ通り、衆議院並ニ貴族院ニ於テ述ベマシタノデゴザイマスガ、此新橋橫濱並ニ京都神戸間ノ鐵道ヲ維新ノ當初ニ於テ架ケタ、是ハ官カラ架ケタノデアリマシテ國民ガ架ケタノデハナイ、即チ官設デアッタノデゴザイマス、是ハ即チ官設ニスルト云フ端ヲ開イタノデアルト云フコトヲ私ハ申シタ積リデアリマスガ、之ヲ直グニ當時ノ政府ハ即チ國有ノ主義ヲ探ツタ申シタヤウニ御聽キニナッタノデハナイカト思ヒマスガ、私ノ演説ハ此鐵道ヲ初ニ架ケタノハ官ガ架ケタノデアツテ、此時ニ鐵道ヲ國有ニスル端緒ガ開ケタノデハナイカト云フ積リ申シマシタ積リデアリマス、ソレカラ此二十七八年ノ戰役後ニ至リマシテ、大ニ國家ガ巨額ノ金ヲ投シマシテ官設ノ鐵道ニ力ヲ盡シタノデゴザイマス、是モ他日民有ニスルト云フ主義デアハナカッタデアリマシテ、即チ官設ノ主義遂行ノ一ツデアアル、ト云フコトヲ申シタノデゴザイマス、其他豫メ主要ナル線路ヲ定メタコトガゴザイマス、是モ即チ官設ニスル心持デアツタ考ヘマス、尙又鐵道ノ買収其他ノ規則ヲ立テマシタノモ即チ他日官設ニスルト云フ方針ヲ探ツテ居タコト考ヘマス、ドウモ其歴史ニ就テ證據立テルヨリ仕方ガゴザイマセウガ、其歴史ニ就キマシテハ細カニ私ハ述ベルコトガ出來マセウカラ、ドウカ是ハ當局大臣カラ御聽取リヲ願ヒタイ、要スルニ私ノ解シテ居リマシタ所デハ、始終鐵道ヲ官設ニスルノ方向ヲ探ツテ居タ、即チ方針主義デアッタト私ハ信ジテ居ルノデゴザイマス、又ソレナラナセ民設ヲ許シタカ、是ハ即チ演説ニモ述ベテ置キマシタ通り、其當時ハ財政ガ許サナカッタノデゴザイマス、ナラウナラ官設ニシタカッタノデアリマスケレドモ何分、國ノ財政ガドシノ官設デア架ケテ行クコトヲ許サナカッタノデアリマス、又國民モ自ラ資本ガアツテ、ドウカ其資本ヲ鐵道ニ投シタイト云フ考ガアツタノデアラウト思ヒマス、而シテ一方ニハ經濟上、軍事上ナカノ當時カラ前途ヲ考ヘテ見マスト、一日モ忽セニスルコトガ出來ナカッタ、ドウカシテ早く鐵道ヲ成功セスケレバ他日如何ナルコトガアルカモ知レヌ、又經濟上ニ於テモ經濟ノ發達ヲ

妨ケル、或ハ其儘ニ官設ガ出來ヌカラト云ツテモ鐵道ヲ架ケヌト云フコトハ時ノ勢ガ許サナカッタデアリマス、故ニ喜ンデ政府モ民設ヲ許シマシタ、ケレドモ其民設ヲ許シタノハ大體ノ主義方針ニハ關係ノ無イコトデ、少シモ國有ノ主義方針ヲ妨ケテハ居ナイ、是ハ官設ノ主義ト並立ツテ悖ラナカッタト思ヒマス、此上ハ甚ダ不便ニモゴザイマスルシ、ドウモ説明ノ仕様ガ無イト思ヒマスルガ、尙御尋ガアレバ御答モ致シマスガ、先ヅ唯今ノ御尋ニ付テハ是デケ申上ゲテ置キマス

○子爵曾我祐準君 唯今伊達男爵ノ質問ニ付テ總理大臣ガ御答ヘニナッタ所ヲ聽クト益分ラヌコトニナリマシタ、決シテ揚ゲ足ヲ取ルノデハゴザイマセウガ、大臣ガ議院ニ向ッテ己ノ説ヲ述ベラレルニハ兩院ノ間ニ於テ差ハ無イト思ヒマス、然ルニ衆議院ニ於テハ斯ク申サレタ、明治ノ初年京濱鐵道ヲ敷設シタ當時カラ其主義ヲ定メデアッタノデアルト仰シヤッタノデゴザイマス、然ルニ唯今ハ私ハサウ信ズル、ト云フヤウナコトデ、唯今ノ説明ト衆議院デノ説明トハ主義ガ違フヤウデアゴザイマス、即チ衆議院デハ國有ノ主義ハ定マテ居ルト明言サレタガ、唯今ハサウ思フノデアルト云フノデ説明ノ趣意ガ違フカト思ヒマスガ、斯ノ如キコトニ付テノ御答辯ハ望ムラクハ前後御答辯ノ一致スルコトヲ望ミマス

○子爵牧野忠篤君 今總理大臣ノ御答辯ニナル間ニ大藏大臣ガ御出席ニナツテ居ルヤウデアゴザイマスカラ、伺ヒマスガ、鐵道ヲ國有ニスルノハ今日ハ好イ時機デアルト云フコトハ軍事上ノ點カラモ申サレマセウ、又其他色々必要モゴザイマスカ知レマセウガ、經濟上ニ付テ此後杞憂ヲ懷ケ點ガアリマス、御承知ノ如ク戰役ニ付テ始メ二十億ニ達スル公債ヲ募ラレテアルニ、尙此上鐵道ヲ買収スルニ付テ始メ五億ニ近キ公債ヲ募ラナケレバナラヌノハ日本ノ經濟上ニ付テ如何ナモノデアゴザイマセウ、色々經營スベキコトモアリ財政上ニ付テモ餘ホド考ヲ要スル時デアラウト思ヒマスガ、其財政上ニ危險ヲ及ボスヤウナコトガアリハセヌカト杞憂ヲ懷キマスガ、其邊ニ付テハ十分、大藏大臣ニ於テ案ガアルヤウニ考ヘマスカラ委シク承ツテ置キタイト思ヒマス

○國務大臣(阪谷芳郎君) 唯今ノ御尋ニ御答ヲ致シマス、鐵道國有ニ付キマシテノ經濟上ノ關係ニ付テノ御尋デアアラウト思ヒマス、約リ戰役後ノ經營ニ於キマシテ一番必要トスルノハ經濟上ノ發展ト云フコトデアリマスノデ、其事ヨリシテ此鐵道國有ト云フ問題ガ生ジテ參リマシタノデゴザイマス、御承知ノ通りニ此今日ノ場合、日本ノ產業ヲ發達セシメテ將來ノ經濟ノ基礎ヲ作ルト云フコトガ今日ノ一番必要ナ問題デアアルノデ、ソレニ付キマシテハ此產業ノ上ニ於テ生産費ヲ省クト云フコトガ一番必要ナコトデアアル、其生産費ヲ省キマスルニハ、ドウシテモ國內ノ交通運輸ヲ便ニシテ運搬費ヲ省クト云フコトガ一番必要ナコトニナリマスノデ、我國ノ經濟ノ有様ノ上ニ於キマシテハ鐵道ガ既ニ二十幾ツカノ會社ニ分レテ居リマシテ、物ノ運搬上ニ於テ運賃ヲ一定スルト云フコト、又時間ヲ正確ニスルト云フコトニ付キマシテ、大變ニ不便ヲ感シテ居ル、然ルニ戰役後等ノ不便ヲ除イテ產業ノ發達ヲ圖ルト云フコトハ最も必要ナコトデアリマス、從來清國並ニ朝鮮ニ對シマスル所ノ我國ノ貿易ハ未ダ十分ナル發達ヲシテ居リマセウデアリマシタ、デ此十年間ノ進歩ヲ見マスルト凡ソ四倍モ貿易ト云フモノガ増進ヲナシテ居ル、即チ將來ニ於キマシテノ日本ノ經濟上ノ勢力ヲ擴張スベキ場所ハ最も重キヲ清國ト韓國ニ置カナケ

レバナラヌト考ヘマス、其上ニ於キマシテ我國ノ生産力ヲ進メテ行クニ付キマシテハ、内地カラ是等ノ國ニ最モ迅速ニ最モ機敏ニ物ヲ送ルト云フコトヲ、ドウシテモ考ヘナケリヤナラヌ、各國ガ清韓ノ貿易上ニ於テ競争スルニ付キマシテ、清韓ノ兩國ニ於ケル交通運輸ノ上ニ不便ヲ感ズルト云フコトハ皆一様ナル、又關稅ノ上ニ付キマシテモ同ク一様ナリマスノデスガ、唯其國カラ運出スルモノハ、即チ其國ノ海岸ヲ離ル、ト云フマデノ所ニ於キマシテハ日本ハ非常ナル不便ヲ感ズテ居リマス、即チ海陸聯絡ノコトト云ヒ内地交通ノコト、云ヒ非常ナル不便ヲ感ズテ居ル次第デゴザイマスノデ、政府ニ於キマシテハ此度即チ鐵道ヲ統一シ海陸ノ聯絡ヲ便ニシテ、成ルベク廉價ニ、成ルベク規則正シク物品ヲ滿韓ノ市場ニ向テ輸送シ、又歐米ノ市場ニ向テ出ルヤウニシヤウト云フノガ、主要ノ眼目ト考ヘマス、固ヨリ此度ノ大戰争ニ於キマシテハ既ニ二十八億ノ公債ト云フモノガ出來テ居ルノデアリマシテ、此儘ニシテ將來ノ發達ヲ圖ルノ途ヲ講ゼヌト云フコトハ甚ダ面白カラザルコトデアラウト考ヘマス、此各國ノ歴史ヲ考ヘマシテモ、即チ大戰争ノ後ニ於キマシテハ各其大戰争ノ費用ヲ償フニ足ルタケノ産業ノ發展ト云フモノヲ皆圖テ居ル、即チ英國ガナポレオン戰争ニ於テノ結末ト云ヒ、又印度ニ對スルノ政策ト云ヒ、總テ非常ナル戰争ニ付テ費ヤシタ所ノモノハ、必ずヤ其後ノ貿易ノ擴張ニ依テ之ヲ求メルト云フコトヲ圖ラナケレバナラヌト考ヘマス、シテ見マスレバ、即チ我國ノ將來ノ經濟上ノ發展ヲ圖ル上ニ於テ、茲ニ交通運輸ノ便ヲ圖テ經濟上ノ利便ヲ達スルト云フコトハ最モ必要ナルコト、認メタ次第デアリマス、即チツレニ付テハ必ず相當ナ施設ヲシナケレバナラヌ、其施設ニ付テハ即チ此鐵道ノ國有ト云フコトガ一ノ問題ニナルデアリマスガ、此鐵道國有ト云フコトニ付テ起シマス所ノ公債ハ、過日總理大臣カラ御演說ノアリマシタ通り、即チ生産ニ屬スル公債デアリマスカラ、之ガ爲ニ國家ノ費用ヲ増ストカ云フ譯ノモノトハ性質ヲ異ニスルデアリマス、即チ遞信大臣ノ說明ニモアリマス通り、相當ノ年限内ニ公債ノ元利ヲ銷却シテ、アトハ國庫ノ收入ヲ増加スルト云フコトニナル譯デアリマス、サウ致シマスレバ多少公債ノ増スト云フコトハ、國家ガ之ヲ忍ビテモ一方ニ經濟上ニ於テ得ル所ヲ以テ之ヲ償フト云フ所ノ決心ヲ執ラナケレバナラヌデアラウト考ヘマス、而シテ公債ノ一時ニ増スト云フコトニ付キマシテハ、即チ相當ナル年限内ニ之ヲ發行スルコトニシテ、急激ノ増加ヲ避クルト云フコトニシナケレバナラヌ、ツレ等ノコトノ注意ヲ取テヤッタナラバ經濟市場ヲサウ攪亂スルト云フコト無シニ、是等ノ目的ヲ達スルコトガ出來ルデアラウト云フ、斯ウ云フ大體ノ考カラ此案ハ成立テ居リマスノデアリマス、唯今ノ御尋ネガツレデ御満足ヲ得マスヤラドウヤラ……

○國務大臣(侯爵西園寺公望君) 唯今會我子爵カラ此主義ヲ定メタト云フヤウニ、私が衆議院演說ヲシタト云フコトデアリマスガ、是ハ別ニ御質問デモ無カッタノデスガ、ツレハ少シ間違テ居リマス、衆議院演說ミマシタノハ草稿ヲ持ッテ居リマシテ、是ハ私ハチットモ……一字一句間違ヘズニ此通り讀ンデデアリマスガ、斯ノ如ク朗讀シタノデゴザイマス

○子爵曾我祐準君 チョット、ツレハ……委員會ノ速記ヲ御覽クダサイ

○國務大臣(侯爵西園寺公望君) コレガ演說ノ草稿デ……

○子爵曾我祐準君 委員會ノ速記ガ誤リデアルカ、ドウカハ知レマセヌガ、之ヲ御覽ク

貴族院鐵道國有法案外一件特別委員會議事速記第一號

ダサレバ能ク分リマス

○國務大臣(侯爵西園寺公望君) 私ハ許サレテ居リマスカラ……衆議院ニ於テハ斯ク申シタノデアリマス「維新ノ當初ニ於テ新橋橫濱間、及京都神戸間ノ鐵道ヲ起工致シマシタニ、端ヲ發イタノデゴザイマス、明治二十五年ニ……」斯様ニ演說シタノデアリマス、或ハ速記ノ……

○子爵曾我祐準君 畏リマシタ、先刻朗讀イタシマシタ如ク、鐵道國有法案ノ衆議院ノ委員會ニ上ホリマシタトキノ御演說ニハアリマスガ、是ハ總理大臣ノ御言葉ノ部ニ入ッテ居リマスガ、但シハ速記ノ間違ヒデゴザイマセウカ、私ハ是ニアリマスカラ總理大臣ノ御演說ニナツタモノト信ゼザルヲ得ヌデアリマス、然ラバ衆議院ニ於テモ二様ニ仰セラレタト云フコトヲ御自分ニ御證明ナサツタ、議院ニ於テノ御演說ト委員會ニ於テノ御演說ト違ッタト云フコトヲ益々證明イタシマス

○國務大臣(侯爵西園寺公望君) 以後ハ謹シデヤリマス

○伯爵德川達孝君 先輩諸君ノ餘リ御質問ノ無イ内ニ後輩ノ私が質問ヲ致シマスノハ餘リ(聽取シ難シ)アルカ知レマセヌガ、一言希望ヲ述べ並ニ質問ヲ試ミタイと思ヒマス、其希望ト申シマスノハ外デモゴザイマセヌガ、昨日日本會ニ於テモ又此席ニ於テモ、ドウモ賢明ナル所ノ内閣諸公デゴザイマスカラ、サウ云フコトハ無カラウトハ存ジマスガ、何ボ法案ガ鐵道法案トハ申シナガラ兎角脫線シ、兎角「レール」ガ曲ルヤウナ御答辯ガアリマスノデ、此私ノ性質ガ不敏ノセイデ分ラヌカ知レマセヌガ、併シ他ノ委員諸君ニ於テモ御同感デアラウト存ジマス、ドウゾ御説明トカ御答辯トカ云フコトニ成ルタケ能ク分リマシヤウニ願ヒタク存ジマス、サウ致シマセヌト本案ヲ決スル上ニ於テ不便ヲ感ズルノミナラズ、内閣諸公ニ於テモ度々御煩ハシ申スコトガアツデハ大ニ失禮ダト存ジマスカラ、ドウゾ要領ヲ得ルヤウ、謂ハユル不得要領デ無イヤウニ……併ナガラ又、或ハ昨日ノ御質問ノ中ニモ……議員諸君ノ中ニモ、コ、テ少シ複雑シタヤウナ御問ガアリマスカラ、勢ヒツレニ付ケテ、ゴマカスト申スト甚ダ語弊ガアリマスガ、不得要領、沒要領ノ氣味ガ無キニシモアラズト考ヘマスガ、ドウゾ此委員會ノ席ニ於テハ御差支ノ無イ限り十分ニ御説明ガアリ、又御答辯アラムコトヲ願ヒタイノデゴザイマス、先ツ是デケ希望ヲ述べ置キマス、私ノ質問ヲ致シタイト申スノハ、昨日議場ニ於テ廣澤伯爵カラ御質問ガゴザイマシタガ、ドウモ其御答辯ガ私ガ不學ノセイカ、ドウモ要領ヲ得ナイノデアリマス、ツレハナゼカト申セバ、此鐵道國有問題ニ就キマシテ、昨午出マシタ鐵道抵當法案ハ重モ民業ノ發達ヲ圖ルト云フ意味ガアル、勿論今ハ内閣ガ違ヒマスカラ、ツレハ前内閣ハサウデアツタガ、現内閣ハ斯ウデアルト御述べニナルカモ知レマセヌケレドモ、豫算其外總テコトヲ綜合シテ考ヘテ見マス、十中ノ八九、前内閣ノ方針ヲ踏襲ナサルヤウナコトニ私ハ思ヒマス、サウシテ見レバ前ノ鐵道抵當法案ノ精神モ多少御踏襲ナスツタコト思ヒマス、若シ果シテ御踏襲ナサルコトシテ見レバ、今度ノ國有問題トハ大分懸隔シテ居ルコト存ジマス、將來現内閣ノ御方針ハ單リ鐵道問題ノミナラズ、民業ハ成ルタケ官業、即チ國有、或ハ官營主義ヲ御執リニナルト云フコトハ、ドンナモノデアリマスガ、併シ歐米諸國ノ形勢モ大分此節ハ民業ヨリ官業ノ方ニ傾グト云フヤウナコトモ、チラノく承ッテ居リマスガ、日本今日ノ程度ニ於テハマダ民業ガ十分發達セヌ都合デアリマスニモ拘ラズ、矢張り官營主

明治三十九年三月二十日

義ヲ御採リニナル譯デゴザイマセウカ、此點ニ於テ不學ノ私ニモ分リマスヤウニ、ドウゾ詳細ニ御答辯アラムコトヲ希望シマス

○國務大臣(侯爵西園寺公望君) 唯今ノ御問ヒハ昨年デゴザイマス鐵道抵當法案が出タ、其抵當法案が出テ、未ダ間モ無イニ、今日ハ之ヲ國有ニスルト云フコトハ矛盾チヤアナイカ、是ガ一ツツレカラ將來ニ向テハ愈々此鐵道國有ヲ遂行スルデアラウカ、或ハ主義ガ變リハシナイカト云フ疑ガアル、斯ウ云フ一ガノ様ニ承リマスガ、既ニ先刻モ申シタ通り、國ノ必要ニ迫ラレト種々考ガ出ルノデゴザイマス、即チ資本ガ……外資ヲ日本ニ入レタイ、マダ其時分ハ戰サガドレダケ續クカ知レヌ、實ハ分ラナカッタ時デゴザイマス、察スル所、定メシツレガ爲ニ此鐵道抵當法案ヲ出シテ、外資ヲシテ日本ニ向テ注入セシメルト云フ政策ヲ執ツタコト、考ヘル、是モ私ハ一向、鐵道國有主義ト矛盾シテハ居ラナイ、即チ以前ハ鐵道國有主義デアアルニモ拘ラズ、民設ヲ許シタ、即チ時ノ必要ノ爲ニ民設ヲ許シタノト同ジコトデアリマシテ、當時必要ヲ感ジテ抵當デ金ヲ借りルコトヲ許シタデアリマスガ、段々此戰サモ終リマシテ、戰後ノ大經綸ヲ立テルニ當テ鐵道國有ヲ提出シタ、之ヲ持出シタ以上ハ、百年ノ後ニ是ガ世界ノ……即チ日本ノミナラズ世界ノ勢ヒ或ハ時勢ト云フモノガ變ルト云フヤウナコトガアリマスカラ、之ヲドコマデモ私ガ保證スルコトハ出來マセヌデアリマスガ、國家ハ鐵道國有ノ方針ヲ採テ此議案ヲ出シタ以上ハ、即チ責任ヲ有テ出シテ居ルデアリマスカラ、之ヲ遂行スル、今日遂行スルコト、確信イタシテ居ルト云フコトハ、御説明ヲ致スニモ及バヌコトカト思ヒマス

○伯爵德川達孝君 尙一應伺ヒマスガ、昨年ノ時ハソレハ分ラヌコトデアリマセウガ、現内閣ノアラム限リハサウデアリマスガ、併シ昨日議場ニ於テノ御答辯ニ、鐵道抵當法案ト云フモノハ一時ノ權宜デアルト云フ言葉ガアリマシタカラ、此鐵道國有法案モ一時ノ權宜ニ終ルコトデアリハセヌカト……

○國務大臣(侯爵西園寺公望君) 鐵道國有法案ガ一時ノ權宜トハ申シマセヌ、一時ノ權宜ト誰ガ申シマシタ……鐵道國有法案ハ決シテ一時ノ權宜トデアリマセヌ

○國務大臣(山縣伊三郎君) 昨日議場ニ於テ私ガ其一時ノ權宜トシテト云フコトハ申シタデアリマスガ、ソレハソノ時ヲ指シタデアリマシテ、其案ガ何モ將來ニ續カヌト云フコトヲ意味シタ次第デアリマセヌ、唯今總理大臣ヨリ述ベラレマシタ通り、今日ハ此國有ヲ必要トシテ提案ニナツタ次第デアリマスカラ、無論此國有主義ニ是ガ抵觸スルト云フコトハ決シテ無イ次第デアリマスカラ、是ガ私カラ申シテ置キマス

○男爵伊達宗敦君 誠ニチヨットシタ、御尋ネデ、御煩ハシ申サウデアリマスガ、先キホド曾我子爵ト總理大臣ト寧ろ御問答ノヤウナ鹽梅デアッタガ、即チ最初ノ新橋京濱間ニ鐵道ヲ設ケタト云フコトハ國有主義ト云フコトヲ示シタデアアル、詰リ國有主義ノ橋渡シヲシタデアアル、斯ウ總理大臣ガ言ハレタデアルト曾我子爵ガ御述ベニナツタヤウニ私ハ承ツタデス、ソレデソレニ對シテ總理大臣ハ、サウデハナイ、國有主義ト云フモノヲ此當時カラ定メタト云フ譯デハナイト斯ウ御直シニナツタヤウニ承リマスガ、跡又質問ヲスルニ就テ其御言葉ヲ確メテ置キマセヌト少シ混雜シマスカラ、甚ダ御面倒デスケレドモ、チヨット……

○國務大臣(侯爵西園寺公望君) 其「定メタ」ト私ガ申シタト云フヤウニ曾我子爵ハ申サレマシタガ、果シテ申シタデアリマセヌ、ソレハ委員會ノ速記録デアデ、私ハ其コトニ氣ガ付キマセヌ、即チ衆議院ニ於キマシテ本會ノ演說ノ草稿ヲ持テ居リマス、私ハ斯ノ如キ大事ナコトハ、イツモ朗讀ヲ致シマスノデ、是ハ外國ニモ例ノアルコトデゴザイマシテ、外交其他大切ノコトハ朗讀ヲ致シマスノガ慎重ノ態度ト考ヘマシテ、イツモ朗讀ヲ致シマス、其草稿ヲ茲ニ持テ居ルデアリマス、其草稿ハ是ハ私ハ甚ダ不辯デゴザイマスシ、此草稿ニ外レタコトヲ申シテ跡デ又變ヘマスルト甚ダ面倒デスカラ、一字一句モ變ヘズ私ハイツデモ讀ムノデ、其讀シタ草稿ヲ唯今申シマスル、即チ維新ノ當初ニ於テ、新橋橫濱間、及京都神戸間ノ鐵道ヲ起工イタシマシタニ、ハシヲヒラキ、……端緒ヲ發キマシタ、ト斯クアルノデゴザイマスカラ、其時ハ私ハ斯ウ申シタニ相違ナイ、併ナガラ委員會デハ草稿モ何モ持チマセヌデ、私ガサダメシ「定メテ」ト輕卒ニ申シタデアリマセウ、是ハ甚ダ一院ニ付テ一ツノ言葉ヲ用井タノハ私ノ誤ト考ヘマス、其事ハ今曾我子爵ニモ申シタデアリマス

○男爵伊達宗敦君 私ハ委員會ノ節ニ御述ベニナツタ事ヲ質スノデハナイ、今總理大臣ガ端緒ヲ發クト云フコトヲ御示シナツタ、其端緒ト云フ其所ヲ伺ヒタイノデアリマス

○國務大臣(侯爵西園寺公望君) ソレハ官設ノ端緒ヲ發イタト云フコトハ其時ハ新橋橫濱間ニ拵ヘタ鐵道ハ人民カラ願フ拵ヘタノデハナイ、御上カラ進シテ架ケタデアアル、即チ官設ノ端緒ヲ發イタト云フ意味デアリマス、元來此事ハ本問題ニ對シテ左程大切ノ事デ無イト思ヒマス

○男爵伊達宗敦君 鐵道國有ニ付テ大切ノ事デナイカ知リマセヌガ、其當時ヨリ鐵道ハ國有ニスベキモノデアッタカ無イカト云フコトヲ實ハ伺ヒタイノデス、ソレデ無論總理大臣ノ述ベラレル如ク新橋橫濱間ノ鐵道ノ官設ニ成ツタト云フコトハ私モ存ジテ居ル、是ハ誰デモ世ノ中ノ人ハ知ツテ居ルデアリマス、今ノ御言葉ニハ官設ノ端緒ヲ發イタト云フ、ソレカラ考ヘテ見ルト其當時ヨリ業ニ已政府ト云フモノ、方針ハ經濟ガ許スナラバ財政ニ差支ガ無イナラバ國有ニスベキ主義デアッタノデアルカ否ヤト云フコトヲ伺ヒタイ

○國務大臣(侯爵西園寺公望君) ソレハドウモ私ノ答辯ノ限リデナイト思ヒマス、當時私ハ政府ニ居リマセナシタカラシテ、其事ヲ政府ニ代テ明ニ申スコトハ出來ナイ、併ナガラ之ヲ付度シテ見マスレバ定メシ國有ノ考デアッタラウト、斯ウ私ハ考ヘルデアリマス、併シ是ハドウモ之ヲ決メテ御答辯イタスコトハ私ノ力デハ出來マセヌ

○子爵曾我子達宗君 唯今總理大臣モ仰セラル、通り、何モ此初メノ方針ガ此案ヲ議スルニ付テ必要ハ感ジマセヌ、元來總理大臣ガ先達ヨリ當初カラノ日本政府ノ方針ト仰セラル、コトガ何ニナルコトカ、實ハ私ドモ甚ダ何ニナルコトカ、殊ニ政黨ヲ率井テ居ル内閣ハ藩閥ニ取ツテ代ツタモノデアルカラ、主義ナドハ御變ヘニナツタガ宜カラウト私ドモハ思ツタ、何ガ必要アデ先祖代々ノ御引キナサルカ一向分ラヌ、併ナガラ是ハ議論ニナリマスカラ……突止メルダケハ突止メナクチヤナリマセヌガ、サウスルト西園寺侯爵ノ御言葉ニ依ルト明治何年ニ官線ノ端ヲ發イタ、斯ウ云フコトニナリマス、アナタノ御論法デ行道ニ敷イタノハ是デ私設ノ基礎ヲ發イタ、斯ウ云フコトニナリマス、御論法デ行クト、ソレカラ明治何年ニ官設ノ端ヲ發キ明治十四年ニ私設ノ端ヲ發イタ、日本ニハ

此ニツアル、官設ト私設ト、是ハアナタノ御論法侵スベカラザルモノト思ヒマスカラ念ノ爲ニ申シテ置キマス

○國務大臣(侯爵西園寺公望君) 最早是等ノコトハ各ノ見ル所デゴザイマスカラ、決シテ言議ヲ費スニハ及バヌト考ヘマスカラ沈黙イタシマスガ、政友會ノ政府デアルカラ云々ト云フコトデアリマスガ、併シ國家ノ料理スル上ニ於テハ左様ナコトハ出來マセヌ、自ラ國政ト申スコトニハ順序モゴザイマス、是ハ私ノ微力ヲ以テ斯ノ如キ重キ責任ヲ有シテ居ル以上ノ國家ノ政治ヲ爲スニ付テハ其順序、其方法、マタ時、總テ是ハ決シテ如何ナル人ガ政治ヲ執リマシテモ前内閣ノ事ハ知ラヌ、己レハ新ニスル、斯ウ云フ政治ハ此先キハ知リマセヌガ、何所ノ國ニモ無イト思ヒマス、是モ唯私ノ考デデアリマスガ、最早議論ニ涉ルコトハ廢メマシテ此貴重ノ時ヲ費ヤシマスカラ、是デケテ一言申シテ置キマス

○男爵伊達宗敦君 私ハ最早總理大臣ニハ今伺フコトハアリマセヌ、當局大臣ニ御尋シタイ、成ルホド今ノ總理大臣ノ御言葉ノ中ニモ前カラノ事ハ自分ハ知ラヌ、ソレハ御尤ノ話デ、無論總理大臣ガ當時勤メテ居タコトデモ無シ、或ハ新橋橫濱間ニ鐵道ノ敷ケル時分ハ歐羅巴ニデモ御出デニナツテ居タコト、思ヒマスガ、ソレハサウカモ知レマセヌガ、併ナガラ此鐵道國有ト云フ主義ハ終始一貫シタモノデアルト、昨今ノ思付キデアッタト云フコトハ、ドウシテモ出テ來ナイト思フ、始終變ラナイコトデアルト云フコトデアル、今日今ノ會我君ノ御言葉ノ如ク、此内閣ニナツテ俄ニ思付イタ仕事デハナイト云フコトニ私ハ取ル、終始一貫ト云フコトハ果シテサウデアラハ見ルト、新橋橫濱間ニ鐵道ヲ敷イタノハ無論官設デアル、ケレドモ其時分カラソレガ模範ノニナツテ來テ、段々私設鐵道ガ出來テ來タデアリマス、寧ろ政府ハ獎勵シタ位ト私ハ考ヘマス、ソレハ段々日本鐵道モ出來、其他ニ澤山鐵道モ出來テ來タ、ソコデ政府ト云フモノハ鐵道ハ國有ニスルト云フ主義ハ終始一貫、若シ其時ノ經濟、政府ノ財政ガ許スモノデアラナラバ、其時分デモ買収シ得ルモノトシタナラバ買収スル御考デアツカ、ソレトモ買収ハセヌカ、私設鐵道ガアルニモ拘ラヌ、一方デハ官設ヲ進メテ行クト云フ考デアツカ、詰リ國有ト云フコトハ終始一貫シテ居ルデアル、始ヨリ終マデ貫イテ動カヌモノデアル、變ジナイモノデアル、斯ウ云フ意味カラ考ヘテ行クト、續々私設鐵道ガ出來ル際ニ官設モソレト並シテ行クカ、サモナケレバ既ニ出來テ居ルモノヲ買収スルカニナラネバ辻褄ガ合ハヌト思フ、併ナガラソレハ過般來、總理大臣其他ノ國務大臣ヨリモ財政ガ許サナカッタカ、經濟ガ許サナカッタノデ當時ハ出來ナカッタガ、今日ハ必要デアルカラ之ヲ行フデアル、斯ウ云フコトニ御述ベニナツタ、ソレデ其當時ハ如何ナル財政經濟、財政ノ情況デアツカカラ國有ニスルトコトガ出來ナカッタデアルカ、今日ノ財政ハ如何ニ政府ガ財政上差支ナイカラ買収スルコトガ出來ルコトニナツタデアルカ、ト云フコトヲ伺デ置キタイノデアリマス、他ノ諸君ハドウカ知ラヌガ、私ハドウカ一番ノ元ニナルデアルカラ、未ダ私ノ意中ニハ贊否何レトモ決シテ居ラヌデアル、ソレデ政府ノ御考ハ至極御尤デアル、結構ナ事デアル、斯ウナクテハナラヌノデアルトナレバ、私ハ進シテ贊成スルノデアリマスガ、悲イカナ愚ナル頭ヲ持ッテ居ルノデアリマスカラ、ドウゾ能ク分ルヤウニ御説明ヲ願ヒタイ

○國務大臣(阪谷芳郎君) 伊達男爵カラノ御尋デ古イ迦デノ御話デゴザイマスガ、或ハ記憶ノ誤ガアルカモ知レマセヌガ、此京濱間並ニ神戸カラ敦賀武豐ヘ出マス鐵道ヲ

架ケマシタ時ニ、財政ノ情況ハ是ハ外國債ヲ募リ又續イテ起業公債ヲ募ッテ致シマシタノデゴザイマス、京濱間ノハ其當時、日本ハ成ルベク文明ノ利器ヲ早ク輸入シテ之ヲ國民ニ示スト云フ必要カラシテ、外債ニ依テ之ヲ成シマシタ、然ルニ京濱間ノ鐵道ニ著手シマスルト間モ無ク蜂須賀侯爵ガ倫敦カラ太政官ヘ建議セラレテ、華族ガ寄ッテ東京カラ青森ニ至ル鐵道ヲ建設スルト云フ建議ガ出マシタ、其建議ニ付キマシテ政府ニ於テ段々御評議ガアリマシタ結果、之ヲ許サウト云フコトニナツタ、然ルニ尙鐵道局ノ意見其他ニ依ッテ最初宇都宮ト東京ニシテ宜カラウト云フコトデ、宇都宮ト東京ト云フコトモ未ダ經驗ノ無イコトデアルカラ、ソレヨリ先キニ京濱間ノ鐵道ヲ拂下ゲラレタ宜カラウト云フコトデ、三百萬圓ヲ以テ之ヲ拂下ゲルト云フコトニ決ツタ、所ガ第一回ノ拂込ガ濟ンデ第二回以後ニ於テ、又華族ノ組合ノ内ニ異論ガ起ッテ、拂下ノ取消ノ願書ガ出マシテ、之ヲ取消シマシタ、サウシテ第一回ノ拂込マレタモノデ、海上保險會社ト云フモノガ出來ルヤウニナツタト云フコトハ皆サシ御承知ノコトデアリマス、是ハ其當時ノ財政ノ情況如何ト云フコトニモ依リマセウシ、或ハ華族ノ財產ヲ鞏固ニスルト云フ、當時政策モアリマシタラウシ、種々ナル事情モアリマシタラウガ、政府ガ鐵道ヲ造ル方針ハ財政ノ許ス限リ變ラナカッタモノト存ジマス、ソレカラ其後ニ開拓使ノ拂下處分ノ問題ガ起リマシタ、當時北海道ニ於テ官設イタシマシタ小樽炭坑トノ間ノ鐵道ト云フモノハ、如何ニ處分スルカト云フコトノ問題ガ起リマシテ、之ヲ其當時ノ處分トシテ民間ニ拂下ゲル、開拓使ヲ兎ニ角廢シテ此鐵道ヲ民間ニ貸下ゲルト云フコトニナリマシタ、即チ此鐵道ハ村田某ト云フ人ニ貸下ゲマシタ、ソレカラ後、唯此鐵道ヲ單獨ニ働カセルヨリモ、炭山ト合併シテ大ニ發達サセルガ宜カラウト云フコトデ、即チ炭礦鐵道會社ト云フモノガ組織ニナリマシタ、是ハ或ハ北海道ニ對スル拓殖上、財政ノ都合ニ依ッテ當時政府ガ此鐵道ヲ持ッソト云フコトガ困難デアリマシタ事情カラ、拓殖ノ必要上、斯ウ云フ方針ヲ採タモノデアラウト考ヘマス、ソレカラ日本鐵道ヲ其後ニナツテ許可セラル、ニ當リマシテモ、是ハ何箇年後ニ國有ニスルト云フ條件ヲ附ケテ許シマシタ、ソレカラシテ其後ニ段々私設鐵道ガ殖エルニ付キマシテ、私設鐵道條例ヲ決メラレル場合ニ於キマシテモ、矢張り何箇年後ニ國有ニスルト云フ條件ヲ附シテゴザイマス、ノミナラヌ此私設鐵道法中ニ於テ政府ガ買収スルコトガ出來ル主義ガ明ニシテゴザイマス、是等ハ何レモ當時ノ財政ノ都合ニ依ッテ、鐵道ノ發達ヲ速カナラシムル爲ニ民設ヲ許シタ譯デゴザイマセウガ、政府ガ始終官設ニスルト云フ考ハ……國有ニスルト云フ考ハ始終方針ノ上ニ於テ現ハレテ居ルト考ヘマス、隨分此長イ間ノ歴史デゴザイマスカラ、其當時ノ財政ノ情況ハドウデアッタト云フコトヲ一々申スノハ大變暇ノカ、ルコトデアリマスガ、大體サウ云フ譯デゴザイマシテ、現在之ヲ國有ニスル必要ノ生シテ來タト云フコトハ、前刻ノ御尋ネニ御答イタシマシタ通り、將來國家經濟ノ基礎ヲ形ヅクル上ニ於テ、此際之ヲ統一スルト云フコトノ便宜ヲ感ジ、又前年來ハ何分、日本ノ市場ガ内國ニ限ラレテ居タ爲ニ、政府ノ財政上ノ餘力ガ甚ダ小サクアッタデアリマスガ、今日ハ即チ内外資本ノ共通ヲ來タシテ、政府ノ財政上ノ運用モ餘ホド便宜ニナツテ、内地ノ市場モ從ッテ大キナツタト思ヒマスノデ、今日此國有ノ問題ヲ實行スルコトガ出來得ル時代ニナツタデアリマス

○下鄉傳平君 唯今マデハ大體ノ御質問デゴザイマスガ、私ハ少シ立入ッテ詳細伺ッテ

見タイ思ヒマスガ、差支ゴザイマセヌカ。

○委員長(侯爵黒田長成君) 唯一言御注意イタシテ置キタイノハ、今ハ大體ニ關スル質問ノ場合デゴザイマスカラ、其御心持テ御質問ニナルコトヲ望ミマス。

○下郷傳平君 豫テ本會デ可決ニナツテ居リマスル減債基金デゴザイマスカ、アレハ戰時公債ノ元利ノ仕拂及價格ヲ維持スルコト云フコトノ爲ニ出來マシタノデゴザイマスカ、今度鐵道國有ニナリマス結果、五億七千万圓カノ公債ガ發行ニナリマス、詰リ此公債ハ鐵道ヲ買上ケル爲ノ發行デ、物ヲ引當テニ出ス公債デアリマスカ、其價格ガヒドク下落スルコト云フコトハ思ハヌノデゴザイマスカ、兎ニ角公債ガ殖エルト云フコトノ爲ニ多少ノ下落ハ免レマイト思ヒマス、此場合ニ於テ公債ノ下落ト云フコトハ、從來所有シテ居ル内外人ノ公債ノ所有者ノ迷惑ノミナラズ、又今度鐵道國有ノ爲ニ發行ニナツタ公債ヲ受取リマス者モ、下落スル結果カラ損失ヲ來タス譯デアリマス、此場合ニ政府ハドウ云フ方法ヲ以テ御處置ヲナサル御見込デゴザイマスカ、又時價ガ下ガル儘ニシテ置カレル積リデアリマセウカ、或ハ減債基金ノ金ヲ以テ之ヲ買上ケルト云フコトモ出來ヌコトハアリマス、兎ニ角其金デハ或ハ少カラウカト思ヒマス、ソレハ此表ニモアリマスケレドモ、公債ノ價格ヲ九十圓ノ見積リテ書イデアリマス、或ハ九十圓マデハ下落スルガ、其以下ハ或方法ヲ以テ下落ヲ止メルコトガ出來ルト云フ御考デゴザイマセウカ、此價格ノ下落スルコトガアルトスレバ、隨分國家ノ經濟上ニ大關係ガアリマスカ、其邊ヲ少シ伺ヒタウゴザイマス。

○國務大臣(阪谷芳郎君) 隨分是ハ大ナル仕事デゴザイマスカ、一切毫モ經濟上ニ少シモ響カヌト云フコト無シニ、サウ極端ニ物ハ言ヘマセヌト考ヘマスガ、併ナガラ此法律ニモアリマス通り五箇年間ニ買收シテ二箇年以内ニ公債證書ヲ渡スト云フコトトリ取りマシタノハ經濟上ノ情況ノ許ス場合ニ於テ之ヲ實行スル、斯ウ云フコトニナツテ居リマスノデアリマスカ、能ク其情況ヲ計ラテ之ヲ實行シテ行クト云フコトデアリマスレバ、此鐵道國有ニナツタ爲ニ、非常ニ波瀾ヲ一時ニ惹起スコトハ無イト考ヘマス、其場合ニ於キマシテハ又相當ナル手段ヲ執ラナケレバナラヌ、固ヨリ減債基金ト云フモノハ是ハ即チ此總テノ公債ノ爲ニ置カレタ減債基金デアリマシテ、其運用ハ便宜ニ出來ルコトニナツテ居ル、併ナガラ戰時公債ノ爲ニ充テタ金ヲコソチノ方ニ使フト云フ譯ニハ、勿論參リマセヌ、併ナガラ減債基金ノ上ニ付キマシテハ、種々ナル金ヲ運用シ得ル方法ニナツテ居リマスカ、一時公債ノ出マス前ニ於テ相當ナル資金ヲ準備シテ置イテ、之ヲ買フト云フヤウナ手段モ出來マセウト考ヘマス、ソレ等ハ何レ實際著手スルニ當リマシテ、相當ナ方法ヲ講ズルノ外ハ無イト考ヘマス、現在ニ於キマシテモ、或ハ今募ツテ居リマスル一億ノ公債ガ出マスルシ、又其後ニ一時賜金ニ對スル公債モ出マスカ、是等モ亦多少ノ影響ハ經濟市場ニ來ルト云フコトハ必ズ免レヌノデゴザイマス、ソレデスカラ單ニ經濟上ノコトノミヲ考ヘマシテ、斯ウ云フモノガアルガ宜イカ、無イガ宜イカト云フコトノ御尋デアレバ、固ヨリ無イガ宜イニ相違ナイ、財政ノ當局者トシテ物ノ負擔ノ増スト云フコトハ、固ヨリソレノミニ就テ御話デアレバ、ソレハ増サヌ方ガ宜シ、併ナガラ今日ハ詰リ國家ガ如何ナル狀態ノ下ニアルカ、即チ此大ナル戰爭ヲシテ自分ノ勢力範圍ト云フモノヲ擴張シテ居ル、其勢力範圍ヲ擴張シタ部分ニ對シテハ、貿易上ノ利益ト云フモノヲ十分ニ擴

メテ行カナケレバナラヌト云フ時機デアルノデゴザイマスカ、積極的ノ方針ヲ執ルカ、消極的ノ方針ヲ執ルカ、小心翼々トシテ少シモ此借金ヲ増サヌト云フコトバカリヲ主トシテ置クト云フコトデ、將來此國家ガ立ツヤ否ヤ、即チ此滿韓ノ經營其他ニ於テデス、大ニ著手シテ行カナケレバナラヌ、前ニモ申シマシタ通り此十年間ニ於ケル貿易ハ四倍進シテ居ル、即チ滿韓ニ對シマシテハ尙今後非常ニ貿易ハ進ムベキ餘地ヲ存シテ居ルト思フノデアリマス、是等ニ對シマシテハ即チ此度ノ法案ノ如クニ朝鮮ノ鐵道ヲ統一シ、内地ノ鐵道ヲ統一シ、總テ交通運輸ノ便ヲ圖テ十分ニ帝國ノ經濟上ノ利益ヲ進メテ行カナケレバナラヌト云フ、即チ積極的ニ進シテ行カナケレバナラヌト考ヘマスノデアリマスカ、其積極的ノ方針ヲ執ル上ニ就テハ多少ノ波瀾ト云フモノハ免レヌデアリマセウ、ケレドモソレハ則チ其波瀾ヲ生ゼザルヤウニ相當ナル注意手段ヲ其時々執テ行クノ外ハ無イノデアリマス、單ニ小心翼々退嬰ノミニ傾クト云フコトデアッテハ十八億ノ借金ハ出來タ、即チ此借金ヲ段々ト經濟ノ發展ニ依ッテ少シモ國家ノ負擔ニナラヌヤウニ縮メテ行クト云フノ道ガ講セラレヌデアナイカト憂ヘマス、此公債ノ一點ノミヲ取ッテ公債ノ増スガ宜イカ、減ルガ宜イカト云フ御尋デアレバ、公債ガ増サヌ方ガ宜イト云フコトハ是ハ單純ナ論ニナリマスガ、一方ノ利益ヲ考ヘマスカ、此英斷ト云フモノハ此際ニ於テ必要ナコトデアラウト考ヘマス。

○桑田熊藏君 大藏大臣ニ御尋イタシタイデスガ、唯今下郷君ノ御尋ニ對スル大藏大臣ノ御答辯ヲ伺ヒマシタガ、要スルニ公債ガ此度鐵道ノ買收ノ爲ニ四億七千万圓エ、此公債ノ濫發ノ爲ニ公債ノ市價ハ將來下落スルコト云フコトヲ御認ニナルノデアリマセウカ、或ハ下落シナイト云フ御考デアリマセウカ、又下落スルコトハ御認承ニナツデモ之ニ對シテハ相當ノ救済方法ガアルカラ、財政ノ基礎ニ於テハ心配ハシナイ、斯ウ云フ御意見デアリマセウカ、ソコヲ伺ッテ置キタイ、ソレカラ遞信大臣ニ伺ヒタイデスガ、是ハ先刻大藏大臣ノ御意見ニ依ルト戰後ノ經營トシテ生産事業ノ發達ヲ圖リ、殊ニ滿韓地方ノ商權ヲ擴張スル其方法トシテ生産費ヲ減ズル必要ガアル、生産費ノ減少ノ方法トシテ鐵道ノ運賃ヲ廉クシヤウ、斯ウ云フ御意見、サウシマスルト此鐵道國有ガ實行サレル曉ニハ鐵道ノ運賃ハ下ガルモノト斯ウ考ヘザルヲ得ナイ、然ルニ此遞信省ノ御發表ニナツタ鐵道買收公債償還年限ト云フ表ガアリマスガ、ソレニ依ッテ見マスト云フト、四十箇年間デ鐵道公債ノ元利償還スル此表ニ依ルト、少シモ鐵道ノ運賃ヲ廉クスルト云フコトハ數ノ上ニ於テ認メナイノデアル、元來此鐵道國有ノ曉ニ運賃ガ下ガルカ、下ガラヌカト云フコトハ、歐羅巴ノ事情ニ徴シテ見マスルト餘程議論ノアルコトデ、獨逸アタリニ於キマシテモ頻ニ鐵道ノ當局者ハ運賃ヲ下ゲヤウト致ス、併シ政府ハ收入ヲ得ルガ爲ニ頻ニ汲々トシテ鐵道當局者ヲ責メル、ソコデ運賃ノ遞減ハ思フヤウニ行カナイト云フコトノ是ハ弊デアリマスガ、大藏大臣ハ運賃ノ遞減ヲ主張サレル、然ラバ遞信大臣ハドウ云フ御意見デアリマセウカ、此表ニ依ルト其事實ガ見エナイ、果シテ遞信大臣ハ鐵道國有ノ曉ニハ運賃ヲグット思切ッテ廉クシテ交通ノ便ヲ圖リ生産費ノ減少ヲ圖ル、サウシテ滿韓ニ於ケル商權ヲ擴張ヲ圖ル御意見デアリマセウカ、其御答辯ヲ願ヒタイ。

○國務大臣(阪谷芳郎君) 公債ヲ濫發シテモ宜イカト云フ御尋デスガ、私ハ公債ヲ濫發シテ宜イト云フコトハ固ヨリゴザイマセヌ、併ナガラ此公債ハ前申シマス通り生産ニ

屬スル公債ヲ、既ニ資本トナツテ居ルモノ、形ヲ變ヘルニ止マルノデアル、例ヲ舉ゲテ申セバ一時賜金ノ公債ト云フモノトハ大變性質ガ違ヒマス、既ニ資本トシテ使用シテ居ル所ノ人ノ財產ヲ株式カラ公債ノ形ニ變ヘルダケノ話デアリマス、縱シ此公債ヲ賣ル人ガアツデモソレハ酒食ノ爲ニ消費スルモノトハ考ヘラレヌ、必ズソレヲ以テ又紡績事業ナリ、滿韓地方ナリ、其資本ト云フモノヲ轉用サセテ行クモノデアリマスカラ、矢張り經濟ノ力ト云フモノハ伸ビテ行クモノデアル、唯、歲計ノ不足ヲ補フトカ何トカ云フコトデ、公債ヲ發スルナラバ、是ハ濫發ト云フコトニナルデアリマセウガ、私ハ此鐵道ノ如キ經濟的ノコトニ屬シテ行クモノ、爲ニ發スル所ノ公債ハ、斯ノ如キ公債トハ大變ニ性質ヲ異ニスルト考ヘルノデアリマス、又發行ハ悉ク一時ハ幅濫シテハナラヌト云フコトニ就テハ、固ヨリ十分ノ注意ヲシナケレバナラヌ、如何ニ良イ公債デモ一時ニ殖エルト云フコトデアルト多少ノ困難ガ生ジマスカラ、是ハ若シ一時ニ發スル場合ニハ、一方ニハソレヲ吸收スルノ手段モ考ヘナケレバナラヌ、成ルベク一時ニナラヌヤウニ注意イタシマス、濫發ト云フベキ性質ノモノトハ認メマセヌ

○桑田熊藏君 大藏大臣ニ質問ノ要點ヲ申シマスガ、四億七千万ノ鐵道公債ガ發行セラレル爲ニ公債ノ市價ガ下ガルトガアルカ、無イカト云フ御尋デアリマス、何モ生産的公債ノ話デハナシ、唯、此市價下ガルカ下ガラヌカト云フコトハドウ云フ御考デアルカラ御尋イタシマシタ

○國務大臣(阪谷芳郎君) ソレハ一時ニヤレバ下ガリマセウ、是ハ相當ナ年限ノ中ニ割テヤリマスレバ、例ヘバ五億ヲ五年ニ割レバ年ニ一億ト云フヤウナ譯デ、相當ノ年限ニ割テヤリマスレバ、サウ下ガルト云フ憂ハアルマイト思ヒマス

○國務大臣(山縣伊三郎君) 唯今桑田君ヨリノ御尋デアリマシタガ、此鐵道ヲ買收シタ曉ニハ運賃ヲ遞減スルヤ否ヤト云フコトデアリマシタガ、是ハ無論廉クシテ行ク積リデアリマス、又參考書ニ就テノ色ミナ細カイコトハ平井政府委員ヨリ唯今説明イタシマス

○子爵曾我祐準君 先刻御宣告ニナリマシタ通り、如何デゴザイマスガ、大體ハ成ルベク大キイ所カラ聽イテ計算法ハ、何レ逐條ニナリマセウカラ其時分ニ賃金ヲ負クレバ幾ラニナルトカ、負ケナケレバドウトカ云フ、サウ云フヤウナ事ハ先刻委員長ノ言ハレタ順序ノヤウニナル方ガ大キニ分リ宜カラウト思ヒマスカラ、チヨット意見ヲ申上ゲテ置キマス

○委員長(侯爵黑田長成君) 大體ノ御質問ノ場合デアリマスカラ、今會我子爵カラ申サレタヤウナ風ニ致シタイト思ヒマス

○桑田熊藏君 私ノ質問ハ大體ノ積リデアリマス、大體ノ證據トシテ計算ニ互ルノデアリマス

○委員長(侯爵黑田長成君) ソレナラ宜ウゴザイマス

○政府委員(平井晴二郎君) 唯今桑田君カラ御尋ネニナリマシタ此鐵道買收ノ後ニ、政府ハ運賃ヲ下ゲルノデアルヤ否ヤ、果シテ下ゲルモノトスレバ政府ノ參考トシテ提出イタシマシタ表ニ其事實ガ少シモ見エテ居ナイヤウデアルト云フ御尋ネノヤウニ聽取リマシタガ、是ハ昨日モ本會ニ於テ本員カラ申上ゲマシタ如ク政府ハ無論運賃ヲ下ゲテ行ク考ヘデアリマス、而シテ參考書ニ其事實ヲ數字ノ上ニ現ハシテ居リマセヌノハ、此參考書ノ計算ハ鐵道ノ營業ノ上ノ利益ヲ基礎トシテ出シマシタモノデアリマスカラ、運賃ノ

方ガ幾ラデアル、之ニ對スル費用ガ幾ラデアルト云フコトハ現ハレテ居リマセヌ、然ラバ如何ニシテ運賃ヲ下ゲルノカト云フ御尋ガ或ハ起ルカモ知レマセヌ、ソレハ統一ノ結果トシテ非常ノ大ナルモノガ減ルカト云フコトハ知レマセヌガ、統一ノ結果必ズ費用ガ減ズルト云フコトハ推察サレラウト思フ、故ニ此參考ニ出シマシタ利益ヲ害シナイ範圍ニ於テ、運賃ハ出來得ルダケ下ゲテ行クノデアリマス、ソレデ此表ニハ運賃ヲ何割下ゲルト云フヤウナコトハ明記シテゴザイマセヌノデゴザイマス

○桑田熊藏君 統一ノ結果トシテ經費ノ節約ニナル額ハ此表ニ詳ニ示シテアル、然ラバ運賃ヲ遞減サレルノハ、表ニ示シテアル經費ノ節約以外ニ尙經費ノ節約ガアルト云フ御見込デアリマセウカ

○政府委員(平井晴二郎君) 左様デゴザイマス

○子爵曾我祐準君 此法律案ハ通過シマシタトシテ、其後ハ一地方ニカ、ル鐵道ヲ……私設鐵道ヲ出願シタモノガアレバ御許シニナルノデアリマスガ、ソレハドンナ一地方ノ鐵道デモ炭山トカ何トカ云フ特種ナモノデナイ以上ハ御許シナサラヌノデアリマスガ、承リタイ

○國務大臣(山縣伊三郎君) ソレハ此法案ノ第一條ノ但書ニアリマス通り地方ニ限ルモノハ必ズ國ガ持ツトスウ云フ意味デアリマセヌデ許スコトモアリマス

○子爵曾我祐準君 然ラバソレハ何ノ法律ニ依テ御許シニナリマスガ

○國務大臣(山縣伊三郎君) 即チ鐵道國有法案第一條ノ但書ニ依ルノデアリマス

○子爵曾我祐準君 私設鐵道法ハ死ニマスガ、活キマスガ、願ヒヤウ萬端ハ私設鐵道法ト云フノガアリマスガソレハドウナリマスガ

○國務大臣(山縣伊三郎君) ソレハ私設鐵道法ニ依リマス

○子爵曾我祐準君 尙御尋ネ致シマス、私設鐵道法ニ依レバ其七十二條ニハ二十五箇年ノ後デアレバ買上ゲ得ルト云フコトガアリマス、是ハドウナリマス

○國務大臣(山縣伊三郎君) ソレハ御問ノ通りデアリマス、矢張り私設鐵道法ニ依ルノハ其條文ニ依ルノデアリマス

○子爵曾我祐準君 サウシマスレバ變ナモノニナリマス、例ヘテ見レバ豐川鐵道ハ明ニ一地方ノ鐵道ニ相違ナイ、ソレヲ今度買上ゲラレル、又豐川鐵道ノ一ノ舞ヲシタ奴ガアレバ二十五年間許シテ置イテ、買ハナイト云フコトニシテ置イテ、又買收法案デモ出シテ途中カラ買フヤウニナリハシマセヌカ

○國務大臣(山縣伊三郎君) ソレハ必ズ二十五年ニナツテ買フト云フコトハ、其時ニナツテ見ヌト先キヲ許スカモ知レマセヌ、サウ云フ必要ノ無イモノヲ其時ニ至ツテ買フト云フコトハ無イノデアリマス

○子爵曾我祐準君 本員ガ言フノハサウデアリマセヌ、新ニ願ツタ地方鐵道ニ更ニ二十五年ハ買ハヌト云フ條件ヲ附シテヤルノハドウ云フ譯ニナリマスガ、二十五年ノ約束ヲシテ居ッテモ國家ノ必要デアレバ之ヲ縮メテヤル、是カラ先キ二十五年間許スト云フ法律ヲ存在シテ置クト云フノハ、ドウ云フ譯デアリマスガ、本員ハ此結果トシテ私設鐵道法ヲ改ムルト言ハレルト思ツタガ、改メヌヤウニ仰セラレルカラ、ドウシテモ理窟ガ分ラヌト云フノデアリマス

○伯爵德川達孝君 今ノ會我子爵ト遞信大臣ノ御問答ノ如キガ、先刻本員ノ豫言  
シタ所デアリマスカラ、ドウゾ分ルヤウニ明ニ御答ヲ願ヒマス

○國務大臣(山縣伊三郎君) ソレハ唯今申上ゲタ通り今別ニ之ヲ改ムルト云フ考ヘ  
ハゴザイマセヌ、矢張り二十五年、アノ法律ニアル通りノ期限ニハ買上ゲルカモ買上ゲヌ  
カモ分ラヌ、斯ウ云フ次第デアリマス

○子爵曾我祐準君 第二條ニ列記サレタル二十幾ツカ三十幾ツカ數多ノ鐵道ノ中ニ  
ハ第一條ノ謂ハユル一地方ノ交通ヲ目的トスル鐵道ガアルノデスカ、無イノデスカ、有ル  
ヤウニハ承テ居リマスガ、公式ニ此處デ改メテ伺ヒマス

○國務大臣(山縣伊三郎君) アリマセヌデアリマス

○子爵曾我祐準君 列記シテアル中ニハ一地方ノ鐵道ハアリマセヌデアリマス

○國務大臣(山縣伊三郎君) 第二條ニ列記シテアル所ノ鐵道ハ總テ此際買收スル  
コトニナツテ居リマスカラ、ソレハ總テ第一條ニ依ルモノト御承知ヲ下サルヤウニ願ヒマス

○子爵曾我祐準君 左様ナ問デアアリマセヌ、第二條ニ列記シテアル所ノ數多ノ鐵道  
會社ノ線路ハ第一條ニアル所ノ一地方ノ交通ヲ目的トスルト云フニ該當スルノガアルノ  
デアリマスガ、アリマセヌト云フノデスカ

○政府委員(仲小路廉君) 曾我子爵ノ御問ニ對シテ御答イタシマスガ、御問ノ趣意  
ハ第二條ニ記載シマシタモノハ第一條ノ但書ニ對シテドウナルカト云フ、斯ウ云フ御趣  
意デラウカト思ヒマス

○子爵曾我祐準君 左様デハゴザイマセヌ、第二條ニ列記シテアル數多ノ鐵道會社ハ  
一地方ノ交通ヲ目的トスルト云フニ該當スルノガアルカ無イカ、尙委シク申シマス、第一  
條ハ「一般運送ノ用ニ供スル鐵道ハ總テ國ノ所有トス」トアリマスネ、一地方ノ交通ヲ  
目的トスル鐵道ガ少クモ政府ノ眼玉デハナケリヤナラヌ、一地方ノ交通ヲ目的トスル  
鐵道ガドコニカアラネバナラヌ、其鐵道ガ第二條ノ中ニ一ツデモアリマスカト云フ御尋ネデ  
アリマス

○政府委員(仲小路廉君) 第二條ノ列記中ニハアリマス、アリマシテモ第一條ニハ抵  
觸シナイ考ヲ有テ居リマス、其理由ヲ申シテ宜ケレバ申シマス

○子爵曾我祐準君 ソレハ此場合デハ御尋ネ申シマセヌ、今ノヲ進ンデ申上ゲマス、然  
ラバ有ルトスレバ、ドレノ鐵道ガ一地方ノ鐵道ト御認メニナリマスガ、シルシヲ附ケマ  
スカラ御覽クリ御舉ゲヲ願ヒマス

○政府委員(平井晴二郎君) 唯今曾我子爵ノ御尋ハ本員ヨリ御答ヲ致シマス、今  
日ノ情況ニ於テ政府ガ一地方ノモノト見得ル鐵道、或ハ他日ニ是ガ延長ヲサレテ一地方  
ノモノデナイモノトナルモノモアルカモ知レマセヌガ……成田鐵道、上武鐵道、互相鐵道、  
水戸鐵道、豐川鐵道、近江鐵道、高野鐵道、河南鐵道、博多灣鐵道

○子爵曾我祐準君 念ノタメ今政府委員ノ説明サレタノヲ讀ンデ見マス、間違ッタラ  
御修正ヲ願ヒマス、成田鐵道、上武鐵道、互相鐵道、水戸鐵道、豐川鐵道、近江鐵  
道、高野鐵道、河南鐵道、博多灣鐵道、是デケデゴザイマスガ

○政府委員(平井晴二郎君) モウ一ツ私ハ落シマシタ、尾西鐵道

○子爵曾我祐準君 然ラバ十鐵道ニナルヤウデアリマスガ、左様デゴザイマスガ

○政府委員(平井晴二郎君) 左様デゴザイマス  
○伯爵正親町實正君 此案ハ隨分重要ナ案デモゴザイマスシ、尙慎重ノ研究モ要シ  
マスカラ、今日ハ十二時ニナリマシタカラ今日ハ是デ御止メニナルヤウニ……  
○委員長(侯爵黑田長成君) 諸君ニ御諮リヲ致シマスガ、正親町君ノ申サレタ通り  
今日ハ是デ止メテ御異議ゴザイマセヌカ  
〔異議ナシト呼フ者アリ〕

○委員長(侯爵黑田長成君) ソレデハ今日ハ是デ止メマス、此次ハ明後日ノ午前十  
時ニ開キマスカラ御承知ヲ願ヒマス、本日ハ散會  
午前十一時五十六分散會

出席者左ノ如シ

委員長 侯爵黑田 長成君

委員

伯爵正親町實正君

子爵曾我祐準君

子爵三島彌太郎君

男爵小澤武雄君

男爵伊達宗敦君

山川健次郎君

南郷茂光君

武井守正君

下郷傳平君

國務大臣

內閣總理大臣 侯爵西園寺公望君

兼文部大臣 臨時外務大臣

大藏大臣 阪谷 芳郎君

農商務大臣 松岡 康毅君

政府委員

大藏省主計局長 荒井賢太郎君

農商務省商工局長 森田 茂吉君

鐵道作業局長官 平井晴二郎君

遞信省通信局長 小松謙次郎君

伯爵德川達孝君

子爵岡部 達孝君

子爵牧野 忠篤君

平山 成信君

小松原英太郎君

男爵佐野 延勝君

古市 公威君

磯邊 包義君

陸軍大臣 寺內 正毅君

司法大臣 松田 正久君

遞信大臣 山縣伊三郎君

陸軍次官 石本 新六君

遞信次官 仲小路 廉君

遞信省鐵道局長 山之內 一次君

遞信省經理局長 關 宗喜君